

料金後納

ゆうメール

(株)育脳寺子屋MAC 本部教室 MAC真成塾
〒616-8156 京都市右京区太秦西野町20
電話:(075)871-0374 FAX:(075)882-3777

2022年
11月号

Mathematics Abacus Chinese character

MAC NEWS

お子さんが大人になった時、社会で活躍できるヒントがいっぱい！！

「MACは楽しい」を科学する ～なぜ、厳しいのに楽しいの？～



日頃は育脳トライアルの感想文の提出など、お子さんの学習意欲向上の為にご協力を賜りありがとうございます。

ところで、お子さんは毎回楽しんでMACに通われていますか？

MACは他の塾に比べると、とても「厳しい」塾だと思います。

何度も忘れ物をするようだと授業を受けずに座っていないといけませんし、勉強以外のことで注意することも多いです。時には厳しく注意することもあります。

本当はいつもニコニコ、叱るべき所も「ダメだよ～」と優しく注意すればこちらも楽しいのですが、それで直すべき所が直れば苦労はしません。

小さい頃から通ってくれている子供達の為にと、心を鬼にして時には厳しく指導している点、どうかご理解頂ければと思います。

無記名アンケートの結果 80%が！

以前、小学部の生徒に無記名のアンケートを実施しました。

MACの授業はどうですか？

「とても楽しい」「楽しい」「普通」「楽しくない」のどれかを選んで下さい。

結果は 80%の生徒が「とても楽しい・楽しい」を選択、19%が「普通」、1%が「楽しくない」の結果でした。どうやら「楽しくない」を選んだ生徒は、アンケート実施前の授業で注意を受けた子のようにでした。無記名ですが、書く字でいたい分かります（笑）

なぜ厳しいのに楽しいのか？ なぜ勉強しているのに楽しいのか？

これにはちゃんとした理由があります。良い機会ですので、MACのことをより良くご理解頂けるよう、また子供達がどのようにMACで学習をしているのか詳しく解説致します。

「自分で」だから楽しい

MACは約 80 分の授業時間の中で、各自決められた学習内容をすべてこなさなければなりません。当然、することが遅ければ帰る時間が遅くなりますし、することが早ければ早く帰れたり、ほかの人よりどんどん進んで学習することだって可能です。

そのような中で子供達は低学年であっても、「時間的な感覚」や「段取り能力」を知らず知らずのうちに身につけています。この力は社会人になっても必須の能力で、大人になってから鍛えようとしてもなかなか難しいのです。

その 自分で授業を組み立てている という満足感・達成感が、自信になり、また楽しさに繋がるのです。

「最近、集中力が付きました」 「物事にじっくり取り組めるようになりました」

というコメントを頂くことがよくあります。これはまさに上記のような満足感・達成感から『自己肯定感』を高められている証拠なのです。

主役は「先生」ではなく「生徒」

そして普通の塾との大きな違いは「自学自習」スタイルだからです。

最近では多くの塾が「自学自習」と謳っていますが、内容は普通の塾と同じく、先生が丁寧に解説をして、生徒はそれを覚えるという授業をしている場合が多いのです。

イメージして下さい、大手の塾や予備校の授業を。

経験豊富なベテラン講師が熱のある授業をして、生徒達がそれに見入っている・・・。

そんな場面が思い浮かびませんか？

そのイメージはほぼ正解だと思います。多くの塾では主役は「先生」なのです。先生が入念な準備をし、シミュレーションを繰り返し、授業をします。

入念な準備をし、シミュレーションを繰り返すことは授業の品質向上のため必要なことですが、あくまで勉強をする主役は「生徒自身」でなければなりません。

MACに通うある生徒が、お母さんに

「学校は先生が黒板に問題を書いて、僕らが解いて、間違ったらすぐに正しい解き方や答えを言う。MACみたいにもう一回考える時間が欲しい。」

と言っていたそうです。

そのような理由から個々に合わせた指導を・・・、ということで「個別指導」が流行ったのですが、ほとんどの塾は学生アルバイトです。個別で質の高い先生を付けようとしたらそれこそ月謝が軽く数倍になるでしょう。

少し話がそれましたが、上記の塾生は「自立学習」の習慣を身につけた上で、自分自身で「分かる」ようになる喜びも身につけているのです。

MACの募集対象が、原則「幼児～小3」の理由

実はMACが原則幼児～小3の募集に限定しているのはここに理由があります。

小学3年生くらいまでは学校の勉強がそこまで難しくないので、上記のような「自学自習」の学習習慣を習得するための時間に充てられるのです。

低学年のうちにこの習慣を身につけられれば、勉強が難しくなる小学校中学年～高学年、中学に入学してからも「教えて貰っていないからわからない」ではなく、なんとか自分で調べたり、あれこれ考えてそれなりに答えを出せるようになります。

そのテストの点数、塾の力？自分の力？

塾の力でその子の実力以上のテストの点数を取らせることは、どちらかと言えば容易です。毎年のデータもありますし、各単元どこがポイントかは絞られるので、塾が要点をまとめて、試験一週間前に生徒を缶詰状態にして徹底的にそこだけ取り組ませれば、恐らく実力以上の点数は取れるでしょう。

しかし、それに何の意味があるのでしょうか？

それは本人の力になっているのでしょうか？

今後の人生で役にたつのでしょうか？

そのテストでは良い点数が取れるかもしれませんが、テストが終わった翌日にはきれいさっぱり忘れ去られています。本人の力で蓄積した知識では無く、詰め込まれた知識だからです。

余談ですが、以前京都でトップレベルの難易度を誇る高校の校長先生と話す機会がありました。

「うちの入学者の約7割は大手塾出身です。しかし、大手塾出身の子は塾が完璧な対策をして、その上で入学してきているので、要は伸びしろが無い子が多い。しばらくして付いてこれなくなる子も多い。残りの3割は塾に行っていなかった、もしくは個人塾出身者で入るときはギリギリだけど、『自分でする力』を持っているので、入ってから大手出身の7割の生徒を大きく追い越すんですよ」

とおっしゃっていました。あまりに予想通りだったので驚いた記憶があります
MACはこの『自分でする力』を伸ばすことを一番の目標にして授業をしています。

お分りの通り、この力は一朝一夕で身につくものではありません。本人の努力も必要ですし、指導者や親の根気も必要になります。(すぐの結果を求めてはダメです)

だからこそMACでは毎月育脳トライアルの感想文を書いて頂いています。

多くの生徒は幼児・小学1年生から入塾してくるので、我々は長期間に渡ってその子を指導します。その中で、すぐに成績には表れなくとも個々様々な成長を見せてくれます。しかしその成長は、親はなかなか気づきにくいのです。

その「テストの点数や成績など、数字には表れない成長（非認知能力）を感じて頂きたい」というのが、感想文を書いて頂いている一番の理由です。

オリンピック選手と同じ練習をしたら、必ず同じくらいのタイムが出せるかと言えばもちろん否です。MACで学んだ子がみなオール5の成績になるかと言えば決してそんなことはありません。

しかし「周りのみんなが自学自習している」というMACの環境の中で、自分でなんとかする力が身につきます。その力が自信へと繋がり、「厳しい」を乗り越えて「楽しい」となるのではないのでしょうか？

難関校に入学し、良い環境で質の高い授業を受けることは良いことです。

しかし、志望校に入学する為の勉強をして受かるのと、自学自習でしっかりと実力を身につけた結果志望校に受かるのでは、入学してから大きな差が生じます。

ひにんちのうりよく 「非認知能力」って知っていますか？

みなさんは、学生の間がくせい あいだ みに身につけておくべき力ちから なん おもって何だたいせつと思いますか？
計算力けいざんりよく？国語力こくごりよく？それももちろん大切ですが、もっと大切なものがあります。

通信簿つうしんぼの右側みぎがわ、しっかり見みていますか？

学生がくせいのみなさんは、学期がつきが終わるおたびに毎回まいかい「通信簿つうしんぼ」をもらいます。
みんな左側ひだりがわの数字すうじを見て「成績せいせきが上がった！」「今回こんかいはダメだめだった・・・」
などいっきいちゆうと一喜一憂よろこ お こ おも（喜よろこんだり落おち込んだり）していると思おもいます。

でも、通信簿つうしんぼの右側みぎがわのページページもみしっかり見みていますか？

専門せんもんてき的な言葉ことばで言いえば、通信簿つうしんぼの左側ひだりがわの評価ひょうかを数字すうじで書かいてある方ほうが
「認知能力にんちのうりよく」、右側みぎがわの部分ぶぶんが「非認知能力ひにんちのうりよく」といいいます。

学生がくせいの間あいだは通信簿つうしんぼの左ページひだりページの「認知能力にんちのうりよく」ももちろん大事だいじなのですが、
将来しょうらい大人おとなになってから必要ひつような力ちからは、右ページみぎページの「非認知能力ひにんちのうりよく」に詰つまっ
ているのです。

これからは左ひだりのページページの数字すうじだけいっきいちゆうに一喜一憂みぎ ページせずちえつくに、右しょうらいのページページもひとしっ
かりチェックしょうらいかつやくして、将来ひと活躍ひとできるかっひとていい人ひとになっひとてくださいね。



偉人いじんの名言めいげん

人生じんせいで成功せいこうするかどうかは「非認知能力ひにんちのうりよく」が
どれだけ高たかいかに関係かんけいする」

ジェームズ・ヘックマン ～ノーベル賞を受賞した経済学者～

自分の部屋じぶんの目立へやつとこめだろに貼はって、読よみ返かえすようよにしましよう。